

広報 | うらやす



主な内容

確定申告のお知らせ ほか 2・3面

第28回浦安市民まつり
第50回浦安植木まつり
境川みんなのかわまち春
消防広場 ほか 8面

発行／浦安市
所在／〒279-8501 千葉県浦安市
猫実一丁目1番1号
編集／企画部広聴広報課
☎047-351・1111(代表)
<https://www.city.urayasu.lg.jp>

市の人口と世帯 人口=171,902人(−111) 男=83,028人(−56) 女=88,874人(−55) 世帯数=87,846世帯(−84) 令和7年12月末現在()は前月比

各記事に掲載しているIDを市ホームページの「広報ページID検索」に入力すると、該当のページが出ます。これにより、記事を探す手間を省けます

浦安の海苔養殖に 思いをはせて



海苔とり
海苔の作業には、ベカ舟とよばれる木造船が使用されました

かつて浦安は、東京湾を代表する海苔の生産地であり、「海苔のまち」として知られていました。昭和13年(1938年)の記録によると、浦安は総柵数、総収穫高(枚数・金額)とも千葉県内1位の座を占めており、全

国有数の海苔生産地でした。海苔の収穫は11月ごろから3月ごろまで行われ、海苔をいっぱいに積んだベカ舟が所狭しと川岸につき、海苔干し場が広がる風景は、浦安の冬の風物詩でした。

☎ 郷土博物館 ☎305・4300



海苔すき
採取した海苔を刻んで海苔簀に漉きました

海苔干し場
漉いた海苔を干して乾燥させました。ここで子どもたちが遊ぶ様子も見られました

ただいま開催中

冬季企画展 浦安の海苔養殖

基幹産業として浦安のまちを支えていた海苔養殖について紹介する企画展「浦安の海苔養殖」を開催しています。企画展では、海苔養殖の歴史だけでなく、私たちの身近な存在である海苔のさまざまな魅力について紹介しています。

時 3月1日(日)まで 所 郷土博物館

内容 海苔養殖の歴史・民俗・自然などについての展示



ID 1006224

海苔トリビア

漁業権放棄後も 海苔養殖は続いていた!?

浦安は、昭和46年(1971年)に漁業権の全面放棄をしましたが、海苔養殖だけは、短期免許を申請することで、昭和50年(1975年)まで行われていました。

昭和30年代以降、海環境が悪くなる一方で、海苔の生産量が増加した要因には、作業の機械化がありました。今回のトピック展示として、機械化による海苔づくりの進化について紹介しています。

千葉県産の海苔

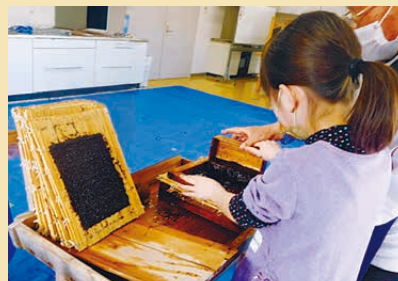
浦安の海苔養殖は終わりを迎えましたが、県内では現在も市川市・船橋市・木更津市・富津市で海苔養殖が行われています。千葉県産の海苔は「色よし・味よし・香りよし」と言われ、生産量こそ多くはありませんが、高級品として知られています。

企画展では、そんな千葉海苔や、青海苔が入っている貴重な「青混ぜ海苔」などを扱っている市内の海苔屋さんを紹介しています。

海苔が「鳴く」!?

1月から2月にかけて、郷土博物館で、小学校4年生を対象に「海苔すき体験」を行っています。館内では、この体験で作られた海苔を干している様子を見ることができます。干された海苔が乾くときには「パリパリ」と音が鳴り、これを海苔漁師は「海苔が鳴く」と言っていました。ぜひ、海苔が「鳴く」音を聞いてみてください。

※海苔干しは、2月22日(日)ごろまで実施(干してないときもあります)



海苔すき体験の様子